

新年あけましておめでとうございます。年末年始はいかがお過ごしだったでしょうか。2024年は、1月に実施される第6期生入学者選抜を経て、いよいよ6学年がそろそろ、完成年となります。さらなる発展を目指して、教職員一同頑張っておりますので、今年もどうぞよろしくお願いいたします。

今回は年末にかけて行われた行事について、いくつかご紹介させていただきます。

◆生徒主催 学校説明会

12月2日(土)に行われた学校説明会は、開校以来初の“生徒主催”で行われました。企画から準備、当日の司会まで、全て生徒たちだけで運営を行いました。参加した小学生の親子の皆様からは、「中高生だけでここまで運営できるのはすごい」など、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。きっと MOIS の魅力も十分に伝わったことと思います。



こうした SA (Service as Action) の活動は、普段の学習で培ったスキルを発揮するチャンスとなります。今回の学校説明会でも、リーダーを中心に円滑に企画を運営する協働スキルやコミュニケーションスキル、参加者に喜んでもらうアイデアを検討する創造性スキルなど、生徒は様々なスキルを応用していました。SA はいつでも誰でも挑戦できるものですので、ぜひお子様にも挑戦を促してもらえたらと思います。

◆後期課程生ダンス発表会&MOIS Music Fes (MMF)

年末になると音楽番組が増えてきますが、12月は MOIS も“音楽の月”でした。まず12月14日(木)・15日(金)に、4年次・5年次による体育ダンス発表会が行われました。4年次は自己プロデュースする「アイドル」に、5年次はクラス単位で1つの作品を生み出すことに挑戦しました。各グループともにダンスのクオリティが高いのはもちろんのこと、音響や演出にもこだわった、素晴らしいパフォーマンスを披露してくれました。

12月16日(土)には MOIS Music Fes (MMF) が行われました。バンドやピアノ、ダンスなど、放課後や休日の時間を使って練習してきた成果を発揮する場となりました。午後には吹奏楽クラブとダンスクラブによるスペシャルパフォーマンスが行われ、会場は大盛り上がりでした。次回は3月大宮国祭でのパフォーマンスになるでしょうか。お時間がありましたらぜひ足をお運びください。



◆生徒会主催“Future of MOIS” Workshop

生徒会主催による学校の長期ビジョンを考える Workshop が開催されました。この Workshop では生徒と教員が学校の未来について、今後どのようなアプローチが必要なのか、議論しました。「MOIS を今よりもっとよくしていきたい」という共通理念のもと、非常に有意義な話し合いの時間となりました。



「 What did visitors to MOIS have to say? 」

IB コーディネータ:Brad Semans

On November 16th, a large number of music teachers from Saitama City's schools came to watch our students perform their multi-track recordings. Some of the teachers I spoke to applauded the use of technology and creative thinking.

Over the last few weeks, MOIS has had a lot of visitors. From November 18~20 more than 70 teachers and workshop leaders came to MOIS from a wide range of countries, from Scotland to Brunei. On the 20th, they had the ability to see students learning. What did they have to say? MOIS students are very active in lessons engaged them in deep inquiry.

Finally, on November 24th, more than 130 visitors from throughout Japan visited for a big research presentation. Among the visitors, representatives from Ritsumeikan Asia Pacific University and Okayama University (both universities with strong understanding of IB education) came, too. Both representatives watched presentations of 4th grade students' Personal Projects. They had a lot of praise for our students' sustained and authentic inquiry. Well done MOIS!

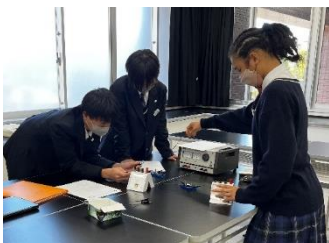
1 学年 「振り返りから見えてくる成長」

1 学年担当:松山 侑紀

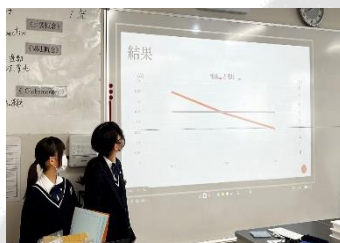
MOIS では月・水・金曜日の DR(Daily Reflection)の中で、生徒たちが一日の学習を振り返る時間が設けられています。これはその日の授業で何を行い、どんなことを考えたか、どんな知識・力が身についたかなどをClassiに入力していくものになっています。入学当初と比べ、生徒たちの入力スピードは格段にアップし、また内容もかなり深みのあるものになっていると感じます。ここで、先月のある生徒の学習記録(一部省略)を紹介させていただきます。

「科学では、前で行った実験の結果も参考に、合成抵抗の求め方を導出しました。証明するのはとても難しかったけれど、直列、並列それぞれの場合における R(抵抗)、I(電流)、V(電圧)の関係式から理論値を導くところが数学で習った連立方程式と関わっていたので面白かったです。」この学習記録からは、この生徒が知識を教科横断的に応用できていることが伝わってきました。自らを振り返る機会は学びの定着のみならず、自分自身に対する新しい気づきや成長につながる大切な時間だと考えます。今年もこのような時間を授業やHRで大事にしていきたいです。

3G プロジェクトで行った探究学習プログラム「さいたまengine」では、最終プレゼンが行われました。さいたまの強みや課題と、企業の持つリソースをうまく組み合わせた企画が多く飛び出し、生徒たちは互いの発表を評価しながら、真剣に耳を傾けていました。



↑ 科学の実験で回路を組む様子



↑ 実験結果を発表する様子



↑ さいたまengine企業賞授与式の様子

2学年「MOIS を盛り上げました」

2学年担当：山下 紘輝

新しい年を迎え、2学年の終了まで残すところ2か月あまりとなりました。新しい1年を迎えるにあたって、昨年の自分自身を振り返った生徒もいるかと思えます。

活動の振り返りという点では、昨年末に開かれた生徒主催の学校説明会では、2年生の生徒が進行役を務めたり、模擬授業を行ったりと、活躍する姿がとても印象的でした。また、先日の LDT で行われた MOIS MUSIC FES では、2年生の出演するステージ発表がたくさんありました。ピアノ連弾やバンド演奏、ヒューマンビートボックス、ダンス発表など多岐にわたり、とても見ごたえのあるものでした。

2024 年も、4期生が個々の力を発揮しながら、MOIS を活気づけてくれることを期待しています。

学校説明会で模擬授業をする 2 年生



先日の MMF での 2 年生

3学年「前期課程の総まとめ」

3学年担当：神山 裕章

新しい年を迎え、いよいよ前期課程は残すところ2か月あまりとなりました。冬休み明けには、早速さいたま市学力検査が行われました。このテストは市立の中学校3年生全員が受検するもので、進路選択のための重要な資料となるものです。もちろん MOIS 生には高校受検はありませんが、中学3年間で身につけるべき学力を、しっかり身につけることができたのかを確認するには絶好の機会となります。ぜひお子様とテストの結果について話をしてみてください。結果に一喜一憂するだけでなく、現時点での強み・弱みを客観的に把握し、弱点が見つかったら後期課程に進む前に弱点を克服しておきましょう。後期課程に入ると学習内容は格段に難しくなります。前期課程で学ぶべきことがあやふやなまま後期課程に進んでしまうと、授業についていくのが難しくなってしまうことも考えられます。市内の中学生が必死で学習している今、弱点克服に取り組んでみることをお勧めします。

同時に、高校受検がない利点を最大限に活用してパーソナルプロジェクトなどに積極的に取り組み、大きな成果が得られるよう、引き続きご家庭でのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



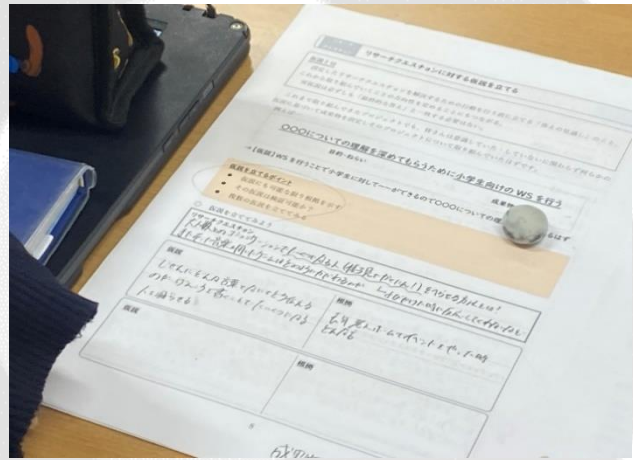
化学の授業風景（指示薬を用いての酸・アルカリの判別、アンモニアがアルカリ性を示す理由の提案）

4年次「5年次に向けて」

4年次担当:戸所 良介

いよいよ今年度も残すところ2か月になりました。4年次の学習もいよいよ終盤です。一般の高校生は入学したその日から「受験生」と呼ばれることがよくあります。卒業までまだ「2年ある」と考えて後回しにしてしまうのではなく、「2年後のために」と考えて、残りの時間をどのように使うか、各ご家庭で検討していただける良いと思います。

さて、3G プロジェクトの時間では、毎週1時間、各個人が自分でテーマを決めた、個人探究を行っています。現在は、5、6年次に行く長期的なプロジェクトの下準備として仮説の設定や簡単な事前調査などを行っています。各教科で行われている授業での様子とは少し異なり、各個人が興味をもった分野についての探究となっています。様々な教科で培ったスキルを、思う存分に発揮するとともに、培ったものを将来に活かして欲しいと思っています。



5年次「挑戦の年に」

5年次担当:北川 嘉則

本年度も残すところ2か月あまりとなりましたが、本年もよろしくお願いたします。先月の授業参観では時間をかけて準備してきた ROK の展示発表や体育のダンス発表などの成果をご覧いただけたことと思います。また、この1年(9か月)の間に以下のコンテストなどの校外活動において活躍する生徒も多くみられ、成長を実感することができました。

Saitama City Model United Nations、International Trade Challenge 2023、岐阜女子大学文化創造デジタル作品コンクール、帝京大学高校生プログラミングコンテスト 2023、第6回市立高校 POP バトル、第18回埼玉いなほカップ高校生英語ディベートコンテスト、敬愛大学高校生英語スピーチコンテスト (これらは活動の一部です)

5年次職員としては、この時期を「受験生のスタート期」と位置づけ、進路実現に向けて本格的・具体的な行動を促していきたいと考えています。受験システムは変化していますが、生徒一人ひとりが自らの道を切り拓けるよう、「人生の先輩」として、ご家庭でも助言いただければと思います。

